

和菓子とくらしの行事



お正月

お屠蘇やお雑煮で年の始めを祝う。日頃は洋式のくらしに慣れていている人でも、お正月だけは日本の伝統を取り入れるという人が多いようです。年始のご挨拶やご来客のおもてなしに、お菓子もやはり和菓子が似合います。

節分(立春)

節分といえば豆まきが頭に浮かびますが、本来は新しい春を迎える行事。こんなときは、春の息吹もあざやかな草餅などいかがですか。

お彼岸(春・秋)

寒さ暑さも彼岸までといわれるように、お彼岸は季節の句読点。おはぎが昔懐かしいご先祖を偲ばせます。

入学・卒業・就職祝

春は別れや出会いの季節です。お赤飯や紅白饅頭、各種祝菓子などが、ちよつびり不安な新しい旅立ちを祝います。

端午の節句(5月5日)

青空に泳ぐ鯉のぼりは、元気な男の子にヒツタリ。お菓子はもちろん柏餅やちまきなど。柏の葉は次の葉が生えてくるまで枯れないため、縁起のよい葉といわれています。

七五三(11月15日)

男の子は3歳と5歳、女の子は3歳と7歳に成長を祝って行うお宮参り。千歳飴が代表的なお菓子ですが、お祝いのお返しなどにお赤飯や紅白饅頭、鳥の子餅などがよく使われます。

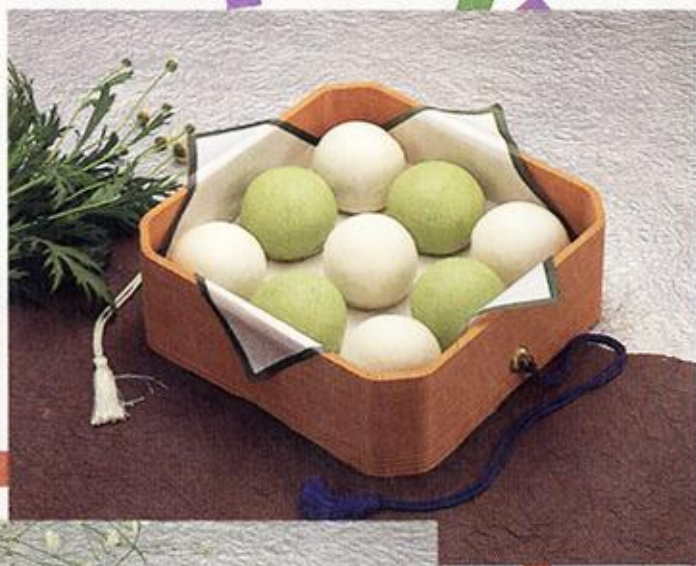
御歳暮

お世話になった方や大切な方に感謝の気持ち贈る、日本ならではの風習です。ちよつと改まったときなど、雅びな和菓子が最適です。



その他の行事

- 出産、誕生祝
- 婚礼祝、結婚記念日
- 還暦、古稀、米寿、白寿祝
- 上棟、新築、開店祝
- 快気祝



仏事／法事

通夜、葬式、各種法要など。香典や心配りへのお返しに饅頭や式菓子などを配ります。